

決算説明資料

2018年度決算概況

2019年5月15日



(注意事項)

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

I. 2018年度決算

18年度連結業績概要（対前年度）	4
セグメント別売上収益	5
セグメント別コア営業利益	6
売上収益・コア営業利益の増減分析 （セグメント別）	7
非経常項目内訳	12
連結財政状態計算書	13
連結キャッシュ・フロー	14

II. 2019年度予想

19年度業績予想概要（18年度対比）	16
セグメント別売上収益予想	17
セグメント別コア営業利益予想	18
売上収益・コア営業利益の増減（予想） 分析（セグメント別）	19
連結キャッシュ・フロー予想	24

(参考資料)

セグメントトピックス	26
セグメント別売上収益（四半期推移）	27
セグメント別コア営業利益（四半期推移）	28
設備投資／減価償却費／研究費／期末人員	29
セグメント別設備投資	30
セグメント別設備投資予想	31
セグメント別減価償却費	32
セグメント別減価償却費予想	33
セグメント別研究費	34
セグメント別研究費予想	35
主要グループ会社業績動向	36
海外売上収益	37
売上収益・各段階損益（年度推移）	38
有利子負債・D/Eレシオ（年度推移）	39
配当金・配当性向（年度推移）	40

I.2018年度決算

18年度連結業績概要 (対前年度)

単位:億円

	17年度	18年度	増減	増減率
売上収益	21,905	23,186	1,281	5.8%
コア営業利益	2,627	2,043	△584	△22.2%
(うち持分法による投資利益)	(553)	(372)	(△181)	-
非経常項目	△118	△ 213	△95	-
営業利益	2,509	1,830	△680	△27.1%
金融損益	△101	54	155	-
(うち為替差損益)	(△96)	(55)	(151)	-
法人所得税費用	△627	△ 359	267	-
非支配持分損益	△444	△ 345	99	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,338	1,180	△158	△11.8%
ROE	15.4%	12.3%		
平均為替レート (円/USD)	110.85	110.92		
ナフサ価格 (円/KL)	41,900	49,500		
海外売上比率	63.2%	64.9%		

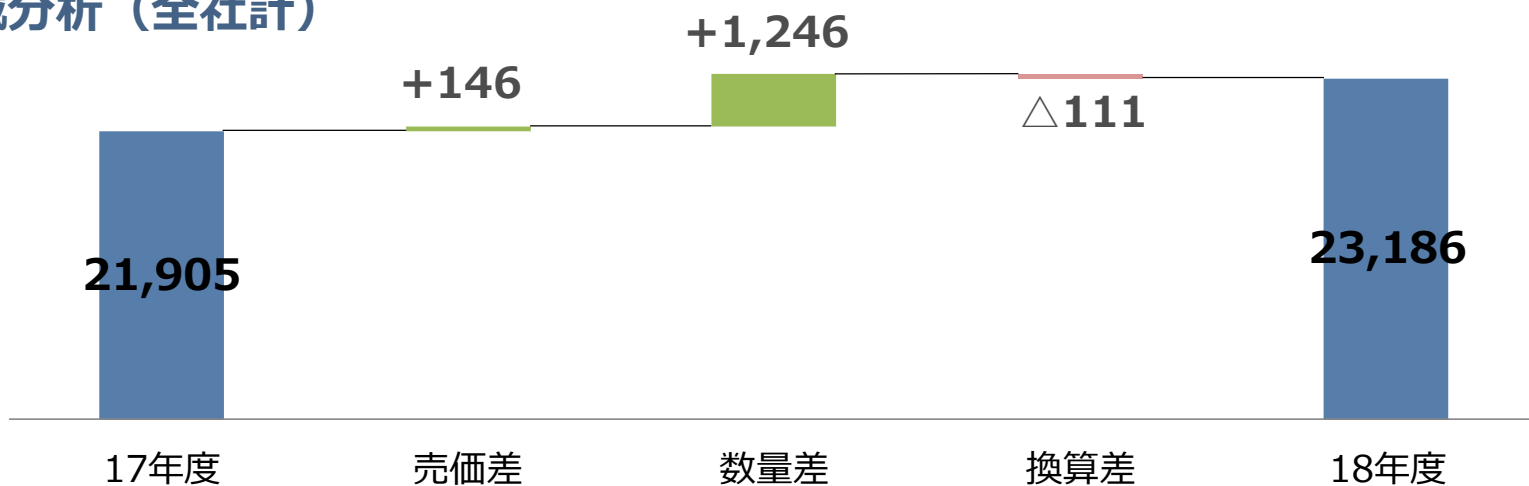
セグメント別売上収益

5

単位:億円

	17年度	18年度	増減	増減率	売価差	数量差	邦貨換算差
石油化学	6,741	7,575	834	12.4%	295	539	0
エネルギー・機能材料	2,510	2,829	319	12.7%	90	231	△2
情報電子化学	3,687	3,968	281	7.6%	△100	415	△34
健康・農業関連事業	3,397	3,381	△16	△0.5%	△55	112	△73
医薬品	5,002	4,921	△81	△1.6%	△84	4	△1
その他	568	511	△56	△9.9%	0	△56	0
合計	21,905	23,186	1,281	5.8%	146	1,246	△111

増減分析（全社計）



セグメント別コア営業利益

単位:億円

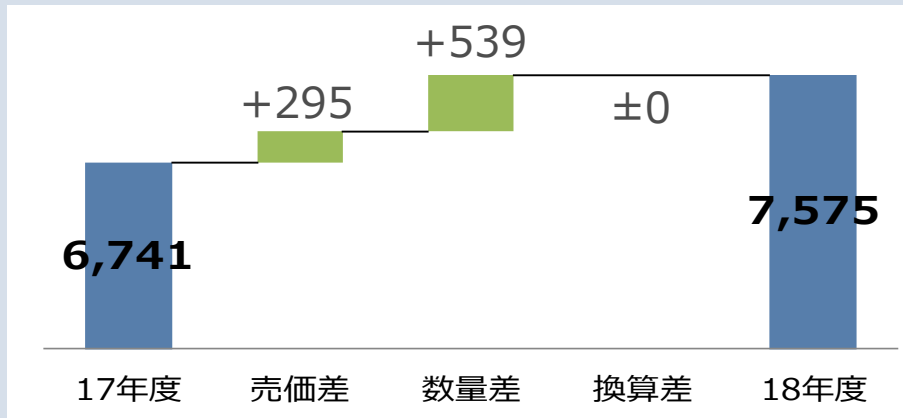
	17年度	18年度	増減	価格差	コスト差	数量差等	合計
石油化学	946	616	△330	△60	10	△280	△330
エネルギー・機能材料	192	230	38	△25	△35	98	38
情報電子化学	123	262	139	△105	100	144	139
健康・農業関連事業	440	197	△242	△95	△40	△107	△242
医薬品	948	808	△140	△84	35	△91	△140
その他 全社費用等	△22	△70	△49	0	0	△49	△49
合計	2,627	2,043	△584	△369	70	△285	△584

増減分析 (全社計)



売上収益増減

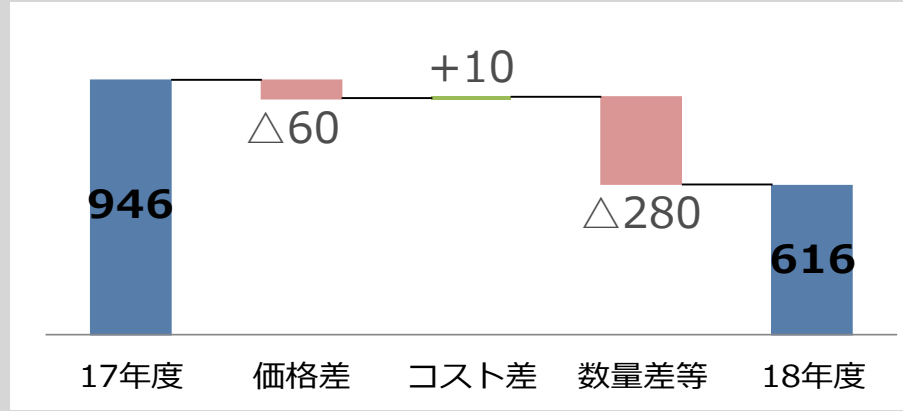
7,575億円 (前期比+834億円)



- 売価差 +295億円
 - 市況上昇
- 数量差 +539億円
 - ラービグ製品出荷増加
- 換算差 0億円

コア営業利益増減

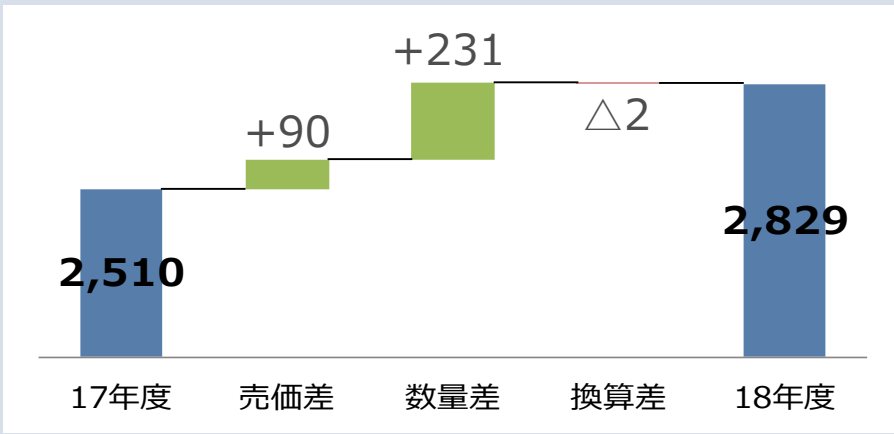
616億円 (前期比△330億円)



- 価格差 △60億円
 - 石油化学品・合成樹脂交易条件悪化
- コスト差 +10億円
- 数量差等 △280億円
 - 持分法損益悪化
 - 千葉工場・シガポール定修による出荷減
 - 17年度ライセンス収入計上

売上収益増減

2,829億円 (前期比+319億円)



売価差 +90億円

- アルミニウム等市況上昇

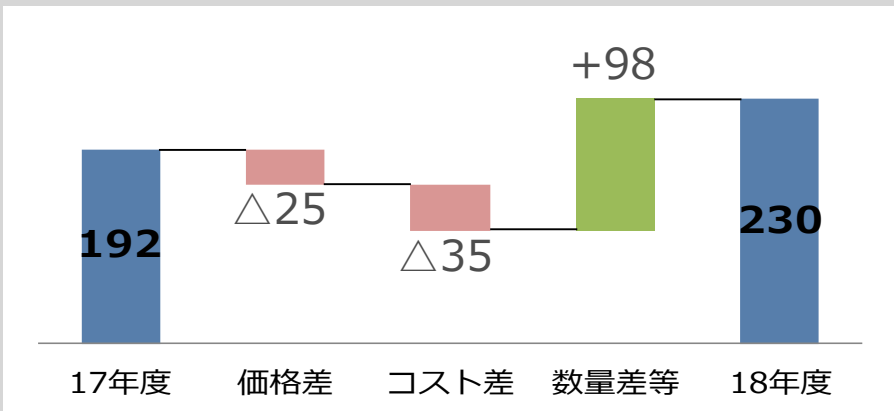
数量差 +231億円

- リチウムイオン二次電池用セパレータ出荷増加
- 高純度アルミナ出荷増加

換算差 △2億円

コア営業利益増減

230億円 (前期比+38億円)



価格差 △25億円

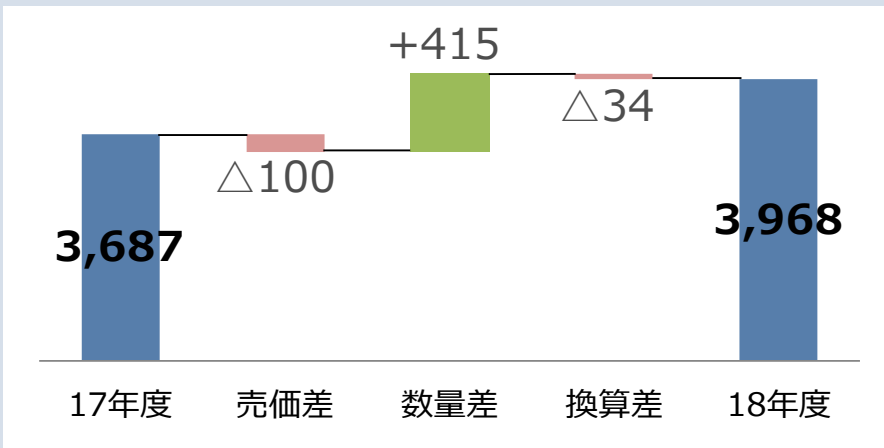
コスト差 △35億円

数量差等 +98億円

- リチウムイオン二次電池用セパレータ出荷増加
- 高純度アルミナ出荷増加

売上収益増減

3,968億円 (前期比+281億円)



売価差
△100億円

- 偏光フィルム売価下落

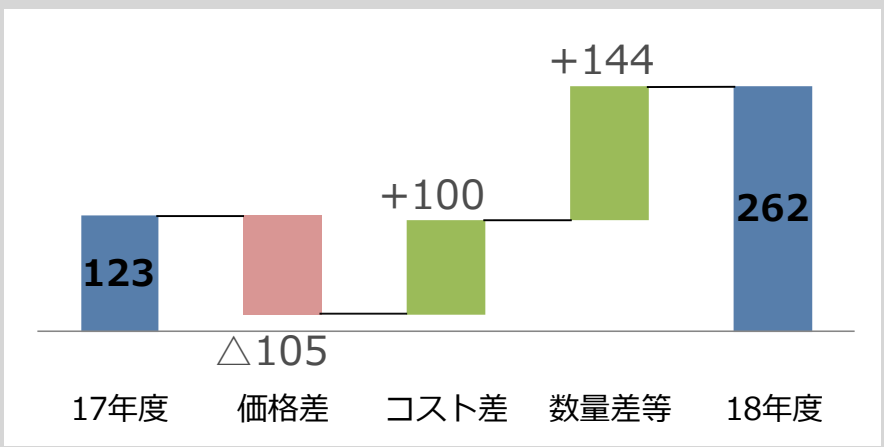
数量差
+415億円

- 偏光フィルム出荷増加
- タッチセンサーパネル出荷増加

換算差
△34億円

コア営業利益増減

262億円 (前期比+139億円)



価格差
△105億円

- 偏光フィルム売価下落

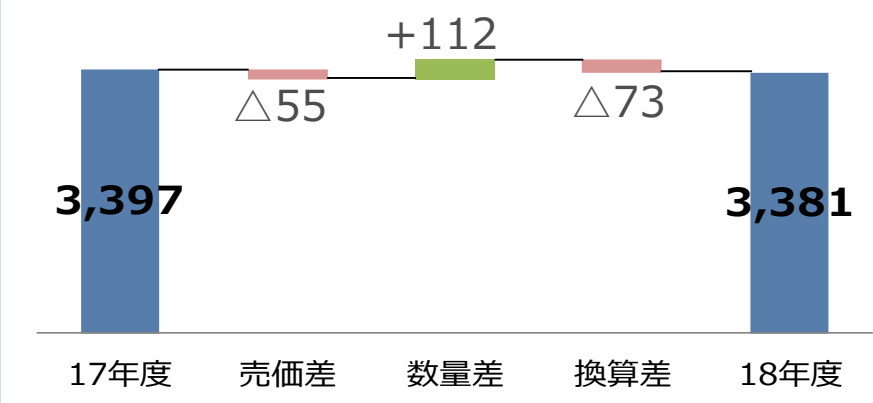
コスト差
+100億円

- 原料合理化、収率向上等

数量差等
+144億円

- 偏光フィルム出荷増加
- タッチセンサーパネル出荷増加

売上収益増減



3,381億円 (前期比Δ16億円)

売価差
Δ55億円

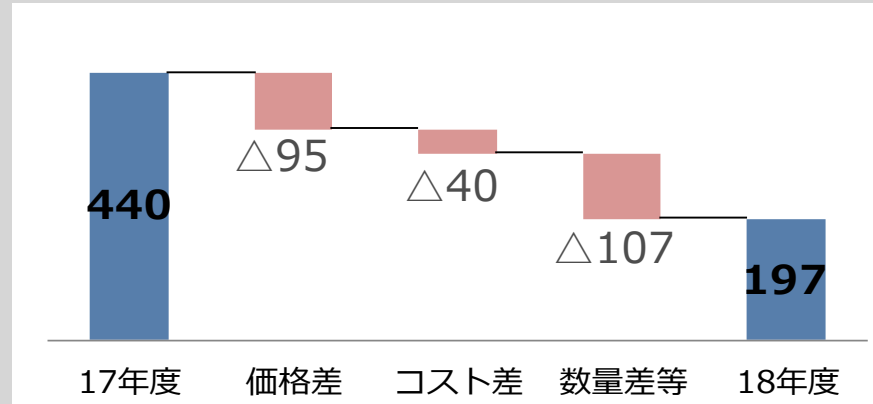
- メチオニン市況下落

数量差
+112億円

- 国内子会社新規連結による増加
- 南米・アジアでの農薬出荷増加
- 北米天候不順による農薬出荷減少

換算差
Δ73億円

コア営業利益増減



197億円 (前期比Δ242億円)

価格差
Δ95億円

- メチオニン交易条件悪化

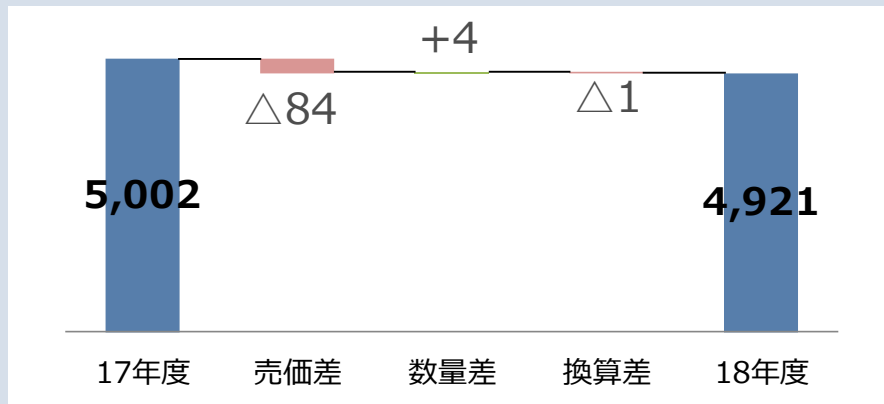
コスト差
Δ40億円

- メチオニン新プラント立ち上げ

数量差等
Δ107億円

- 北米天候不順による農薬出荷減少
- ニューファーム持分法損益悪化

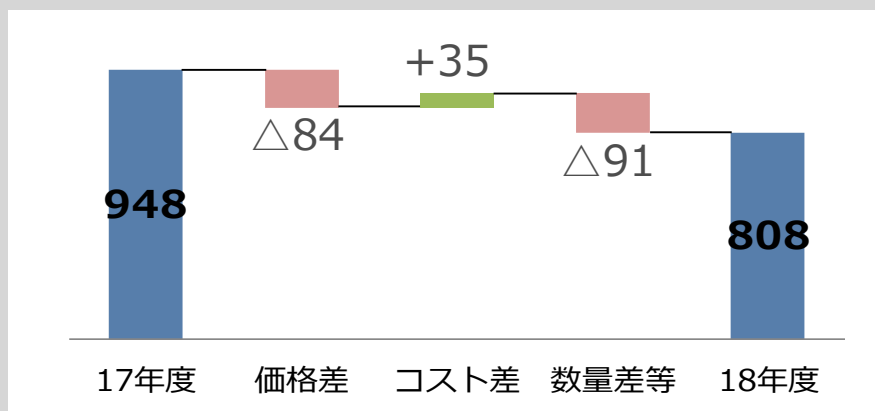
売上収益増減



4,921億円 (前期比Δ81億円)

- 売価差
Δ84億円
 - 国内薬価改定
- 数量差
+4億円
 - 北米ラツォーダ等出荷増加
 - 国内長期収載品等出荷減
- 換算差
Δ1億円

コア営業利益増減



808億円 (前期比Δ140億円)

- 価格差
Δ84億円
 - 国内薬価改定
- コスト差
+35億円
 - 研究費減少
- 数量差等
Δ91億円
 - 17年度シクレソニド事業譲渡益計上

単位:億円

	17年度	18年度	増減
減損損失	△124	△246	△123
事業構造改善費用	△142	△91	51
条件付対価に係る公正価値変動	61	90	28
減損損失戻入益	35	30	△5
固定資産売却益	68	14	△54
その他	△16	△9	7
非経常項目 計	△118	△213	△95

単位:億円

	18.3月末	19.3月末	増減		18.3月末	19.3月末	増減
流動資産	12,548	12,912	364	負債	18,165	18,197	33
現金及び現金同等物	2,319	2,017	△303	営業債務及びその他の債務	4,868	4,829	△40
営業債権及びその他の債権	5,306	5,500	194	有利子負債	8,422	8,395	△26
棚卸資産	4,468	4,893	425	その他	4,875	4,973	99
その他	455	503	48	資本	12,522	13,519	997
非流動資産	18,139	18,804	665	株主資本	8,420	9,223	803
有形固定資産	6,757	7,359	602	その他の資本の構成要素	852	764	△87
のれん及び無形資産	3,555	3,435	△120	非支配持分	3,251	3,532	281
その他	7,826	8,010	183				
資産合計	30,687	31,716	1,029	負債及び資本合計	30,687	31,716	1,029
				親会社所有者帰属持分比率	30.2%	31.5%	1.3%
				D/Eレシオ (倍)	0.7	0.6	△0.1

単位:億円

	17年度	18年度	増減
営業キャッシュ・フロー	2,933	2,081	△851
投資キャッシュ・フロー	△1,545	△ 1,808	△263
フリー・キャッシュ・フロー	1,387	273	△1,114
財務キャッシュ・フロー	△943	△ 609	334
その他	△58	33	91
現金及び現金同等物の増減	386	△ 303	△689
現金及び現金同等物の期末残高	2,319	2,017	△303

II. 2019年度予想

19年度業績予想概要（18年度対比）

16

単位:億円

	18年度 実績	19年度 予想	増減	増減率
売上収益	23,186	24,400	1,214	5.2%
コア営業利益	2,043	2,050	7	0.4%
（うち持分法による投資利益）	(372)	(230)	(△142)	-
（非経常項目）	(△213)	(△150)	(63)	-
営業利益	1,830	1,900	70	3.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,180	1,000	△180	△15.2%
ROE	12.3%	9.7%		
平均為替レート（円/USD）	110.92	110.00		
ナフサ価格（円/KL）	49,500	43,000		

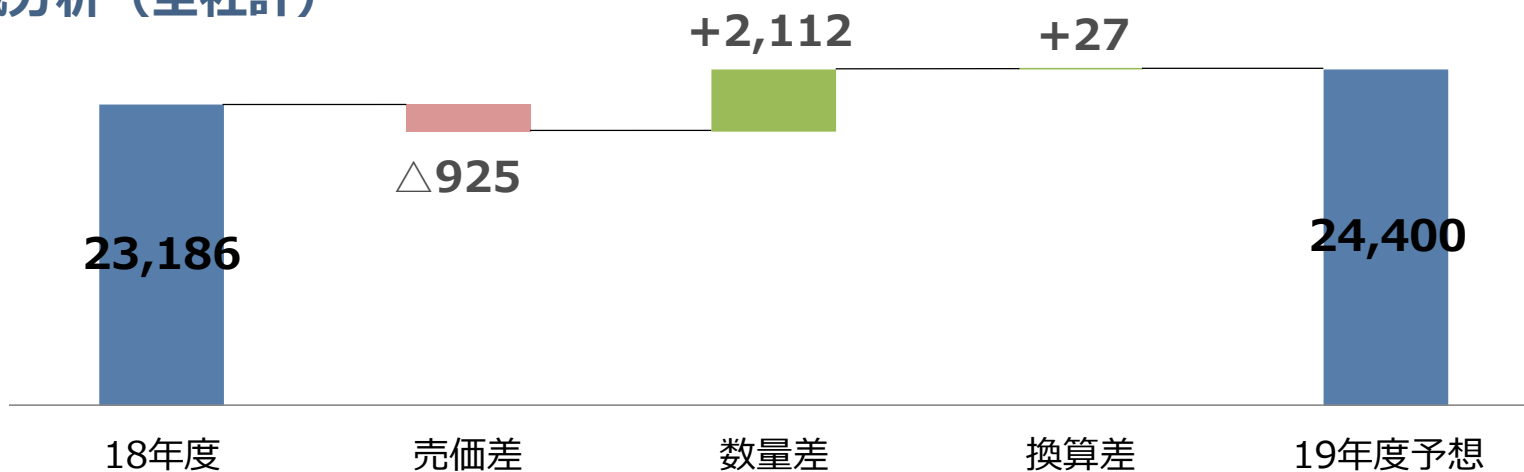
セグメント別売上収益予想

17

単位:億円

	18年度 実績	19年度 予想	増減	増減率	売価差	数量差	邦貨換算差
石油化学	7,575	7,650	75	1.0%	△650	752	△27
エネルギー・機能材料	2,829	3,100	272	9.6%	35	229	8
情報電子化学	3,968	4,250	282	7.1%	△295	514	63
健康・農業関連事業	3,381	3,900	519	15.4%	△15	551	△17
医薬品	4,921	4,950	29	0.6%	0	29	0
その他	511	550	39	7.6%	0	39	0
合計	23,186	24,400	1,214	5.2%	△925	2,112	27

増減分析（全社計）



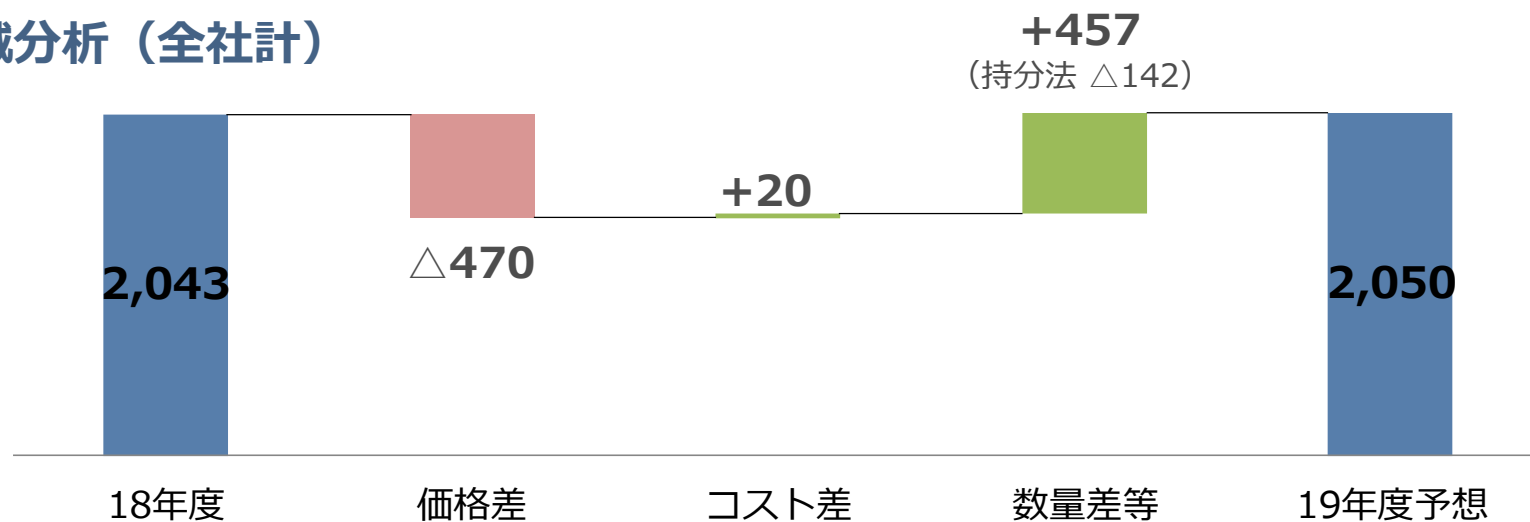
セグメント別コア営業利益予想

18

単位:億円

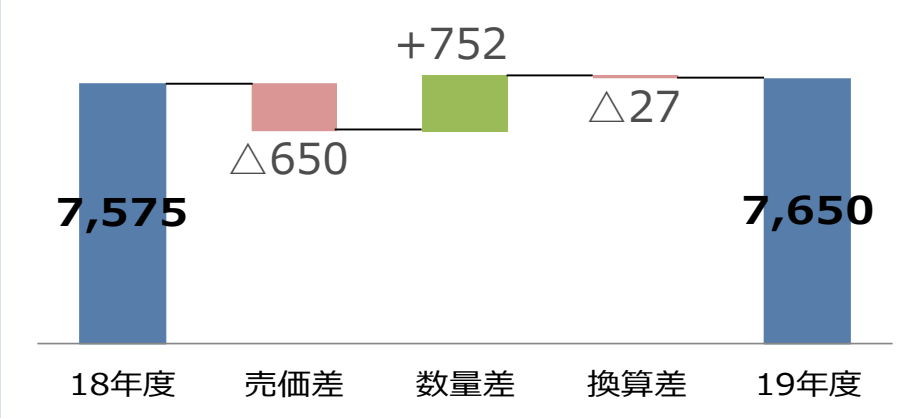
	18年度 実績	19年度 予想	増減	価格差	コスト差	数量差等	合計
石油化学	616	400	△216	△150	△5	△61	△216
エネルギー・機能材料	230	250	20	△35	△10	65	20
情報電子化学	262	270	8	△285	60	233	8
健康・農業関連事業	197	370	173	0	△45	218	173
医薬品	808	810	2	0	20	△18	2
その他 全社費用等	△70	△50	20	0	0	20	20
合計	2,043	2,050	7	△470	20	457	7

増減分析 (全社計)



売上収益増減

7,650億円 (前期比+75億円)



売価差
△650億円

- 市況下落

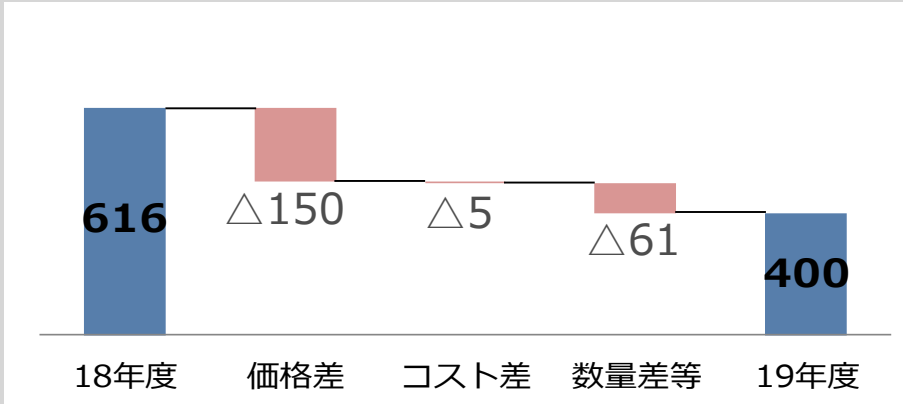
数量差
+752億円

- ラービグ製品出荷増加
- 18年度千葉工場・シガポール定修からの数量回復

換算差
△27億円

コア営業利益増減

400億円 (前期比△216億円)



価格差
△150億円

- MMA・合成樹脂交易条件悪化

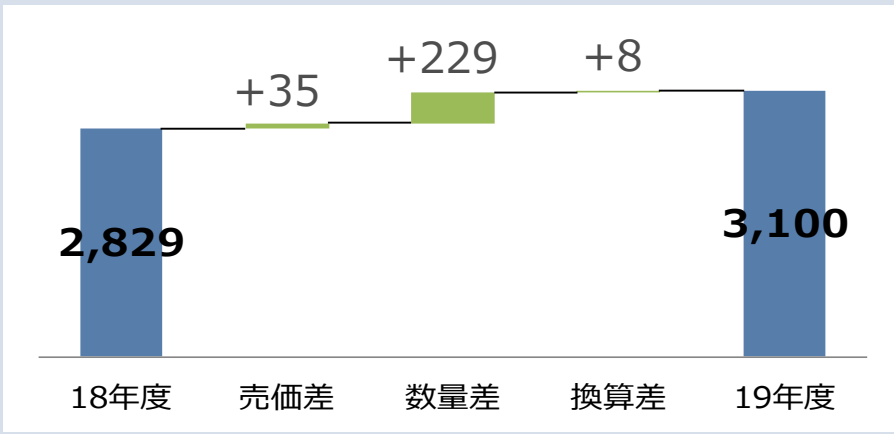
コスト差
△5億円

数量差等
△61億円

- 持分法損益悪化
- 18年度千葉工場・シガポール定修からの数量回復

売上収益増減

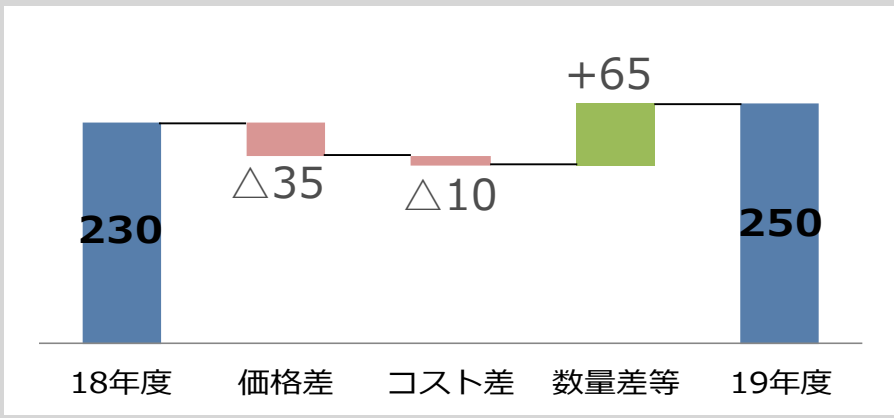
3,100億円 (前期比+272億円)



- 売価差 +35億円**
 - アルミニウム等市況上昇
- 数量差 +229億円**
 - リチウムイオン二次電池用セパレータ出荷増加
 - 18年度千葉工場定修からの数量回復
- 換算差 +8億円**

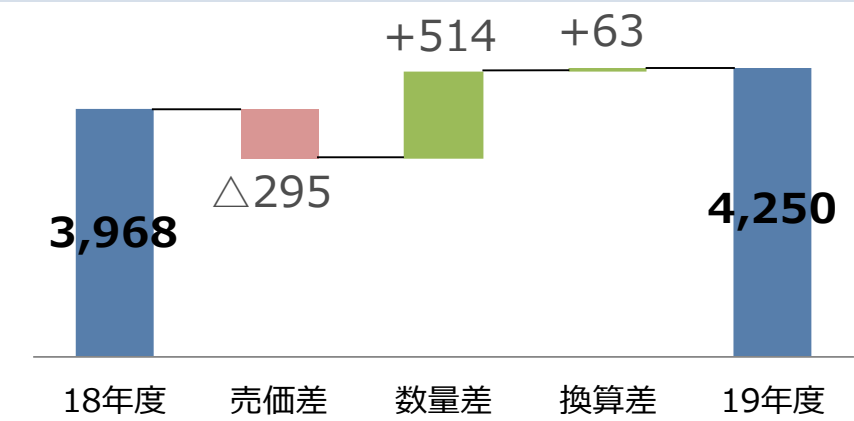
コア営業利益増減

250億円 (前期比+20億円)



- 価格差 △35億円**
 - 機能樹脂等交易条件悪化
- コスト差 △10億円**
- 数量差等 +65億円**
 - リチウムイオン二次電池用セパレータ出荷増加
 - 18年度千葉工場定修からの数量回復

売上収益増減



4,250億円 (前期比+282億円)

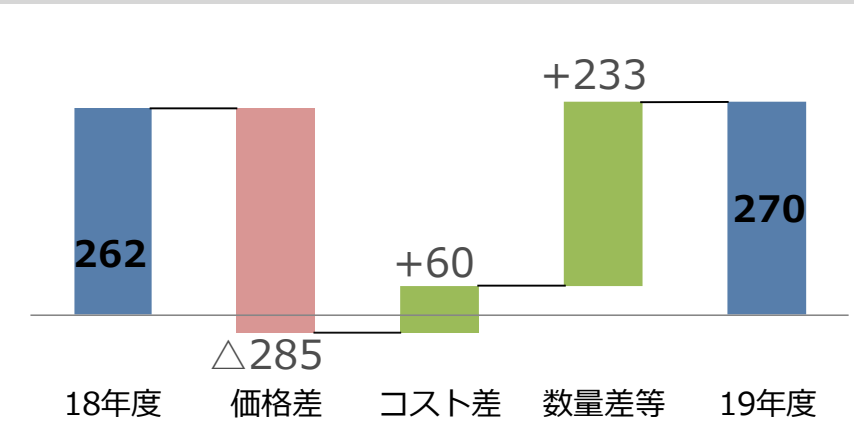
- 売価差**
 - 偏光フィルム売価下落
 - タッチセンサーパネル売価下落

△295億円
- 数量差**
 - 偏光フィルム出荷増加
 - タッチセンサーパネル出荷増加

+514億円
- 換算差**
 - 半導体高純度ケミカル出荷増加

+63億円

コア営業利益増減



270億円 (前期比+8億円)

- 価格差**
 - 偏光フィルム売価下落
 - タッチセンサーパネル売価下落

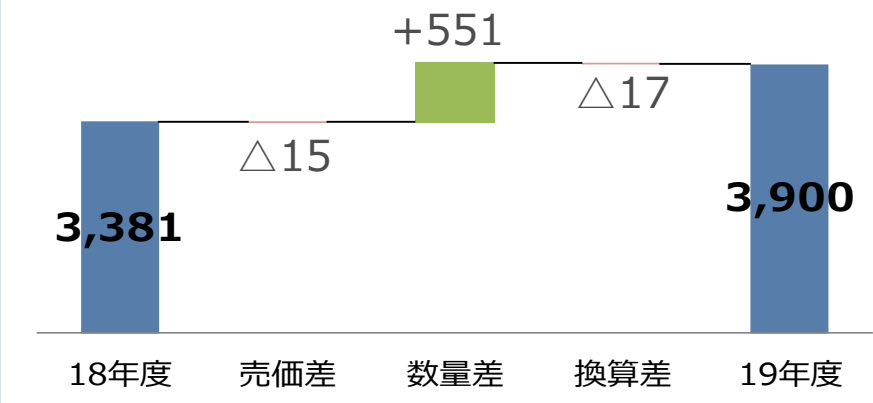
△285億円
- コスト差**
 - 原料合理化、収率向上等

+60億円
- 数量差等**
 - 偏光フィルム出荷増加
 - タッチセンサーパネル出荷増加
 - 半導体高純度ケミカル出荷増加

+233億円

売上収益増減

3,900億円 (前期比+519億円)



売価差
△15億円

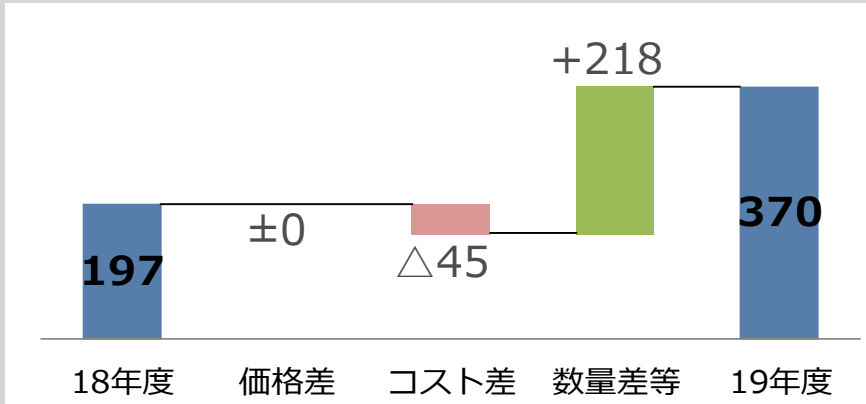
数量差
+551億円

換算差
△17億円

- メチオニン出荷増加
- 18年度天候要因からの回復による農薬出荷増加

コア営業利益増減

370億円 (前期比+173億円)



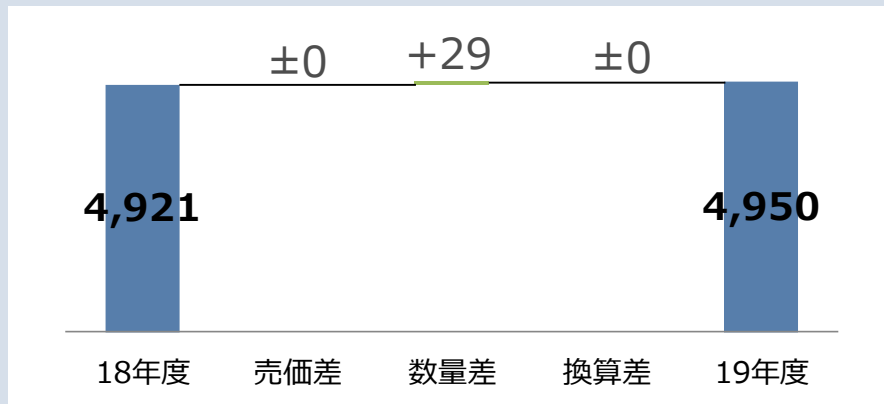
価格差
±0億円

コスト差
△45億円

数量差等
+218億円

- メチオニン新プラント立ち上げ
- メチオニン出荷増加
- 18年度天候要因からの回復による農薬出荷増加

売上収益増減



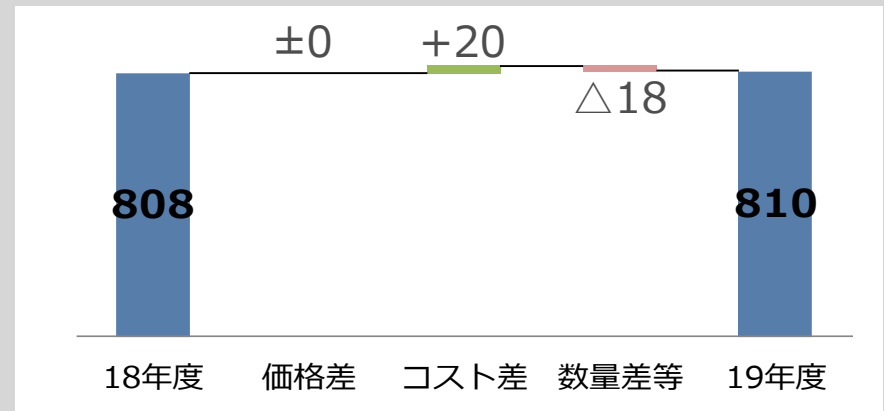
4,950億円 (前期比+29億円)

売価差
0億円

数量差 +29億円
■ 北米ラツォーダ等出荷増加
■ 国内長期収載品等出荷減

換算差
0億円

コア営業利益増減



810億円 (前期比+2億円)

価格差
0億円

コスト差 +20億円
■ 販管費減少
■ 研究費増加

数量差等 △18億円
■ 国内長期収載品等出荷減

単位:億円

	18年度	19年度予想	増減
営業キャッシュ・フロー	2,081	2,200	119
投資キャッシュ・フロー	△1,808	△ 3,400	△1,591
フリー・キャッシュ・フロー	273	△ 1,200	△1,473
財務キャッシュ・フロー	△609	1,650	2,259
その他	33	0	△33
現金及び現金同等物の増減	△303	450	752
期末有利子負債残高	8,395	10,500	2,105

(参考資料)

石油化学

- ラービグⅡ期計画 製品出荷開始
- シンガポールMMAプラント再稼働決定

エネルギー・ 機能材料

- PES生産能力増強
- 正極材料生産能力増強決定（田中化学研究所）

情報電子化学

- 半導体高純度ケミカル拠点拡充（中国／常州・西安）
- 中国偏光フィルム製造会社子会社化
- JOLED社出資

健康・農業 関連事業

- 飼料添加物メチオニン新プラント完成
- インド子会社の統合決定
- 研究開発拠点拡充（宝塚CRC・VBC BRC）

医薬品

- ラツォーダANDA訴訟の被告メーカーとの和解（1件の訴訟は係属中）
- 京都大学iPS細胞研究所との連携による再生医療への取り組み

セグメント別売上収益 (四半期推移)

単位:億円

	17年度				18年度				19年度予想	
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期
石油化学	1,535	1,666	1,765	1,775	1,856	1,948	1,965	1,806	3,850	3,800
エネルギー・機能材料	596	606	675	632	685	723	738	682	1,500	1,600
情報電子化学	908	978	981	821	892	1,063	1,055	959	2,100	2,150
健康・農業関連事業	675	702	785	1,235	694	688	745	1,254	1,650	2,250
医薬品	1,246	1,235	1,323	1,198	1,243	1,184	1,291	1,203	2,450	2,500
その他	120	137	126	185	119	127	126	140	250	300
合計	5,079	5,324	5,655	5,846	5,489	5,732	5,920	6,044	11,800	12,600

セグメント別コア営業利益 (四半期推移)

28

単位:億円

	17年度				18年度				19年度予想	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期
石油化学	150	268	289	239	178	176	164	98	190	210
エネルギー・機能材料	48	55	56	33	59	69	74	28	125	125
情報電子化学	33	57	46	△12	43	105	75	39	135	135
健康・農業関連事業	55	29	103	253	26	△2	15	158	0	370
医薬品	259	322	235	132	197	196	200	215	400	410
その他 全社費用等	△11	4	△9	△5	△21	△6	1	△44	△50	0
合計	535	735	718	638	482	539	528	493	800	1,250

単位:億円

	17年度	18年度	19年度予想
設備投資	1,588	1,637	1,530
減価償却費	1,071	1,125	1,350
研究費	1,653	1,635	1,750
期末人員 (人)	31,837	32,542	34,000

単位:億円

	17年度	18年度	増減
石油化学	174	315	141
エネルギー・機能材料	225	243	18
情報電子化学	245	336	91
健康・農業関連事業	563	399	△164
医薬品	212	169	△44
その他 全社費用等	168	176	7
合計	1,588	1,637	48

単位:億円

	18年度	19年度予想	増減
石油化学	315	295	△20
エネルギー・機能材料	243	310	67
情報電子化学	336	440	105
健康・農業関連事業	399	185	△214
医薬品	169	130	△39
その他 全社費用等	176	170	△6
合計	1,637	1,530	△107

単位:億円

	17年度	18年度	増減
石油化学	230	220	△9
エネルギー・機能材料	139	154	15
情報電子化学	296	311	15
健康・農業関連事業	162	187	25
医薬品	151	163	12
その他 全社費用等	94	90	△4
合計	1,071	1,125	54

単位:億円

	18年度	19年度予想	増減
石油化学	220	265	45
エネルギー・機能材料	154	160	6
情報電子化学	311	345	34
健康・農業関連事業	187	255	68
医薬品	163	195	32
その他 全社費用等	90	130	40
合計	1,125	1,350	225

単位:億円

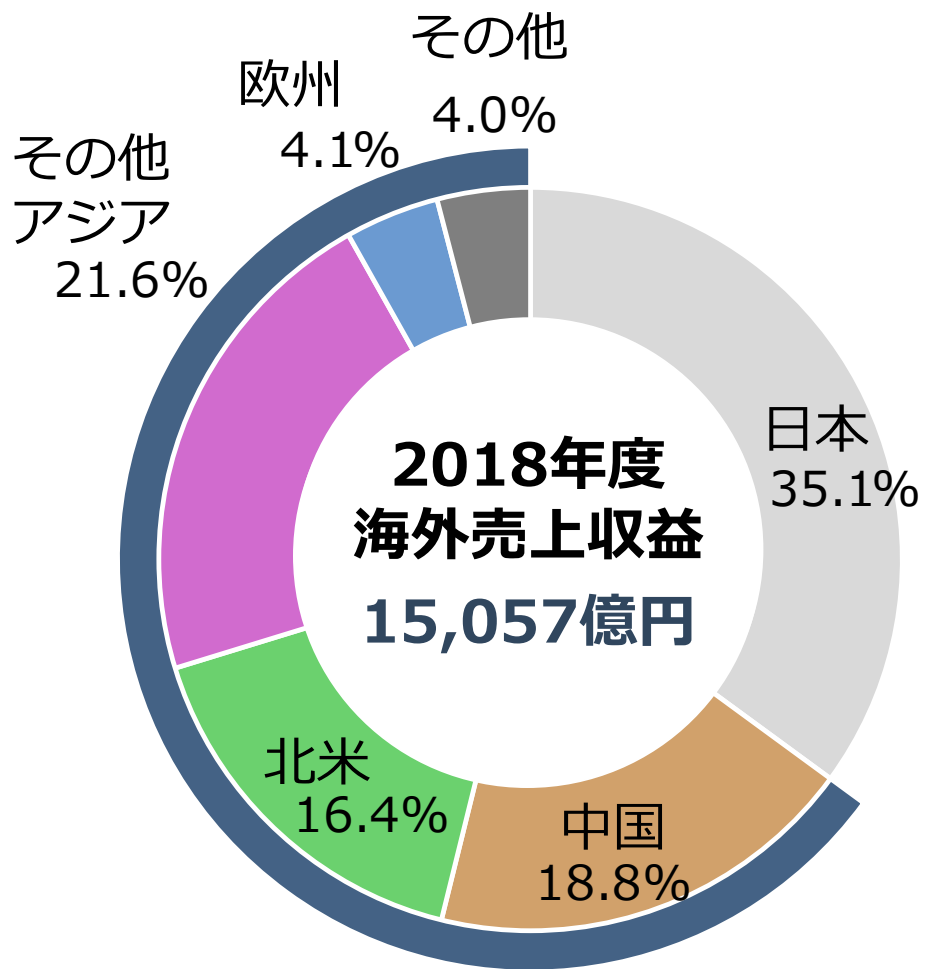
	17年度	18年度	増減
石油化学	66	71	4
エネルギー・機能材料	75	85	10
情報電子化学	173	173	△0
健康・農業関連事業	293	293	0
医薬品	893	851	△43
その他 全社費用等	153	162	9
合計	1,653	1,635	△19

単位:億円

	18年度	19年度予想	増減
石油化学	71	75	4
エネルギー・機能材料	85	85	0
情報電子化学	173	180	7
健康・農業関連事業	293	340	47
医薬品	851	890	39
その他 全社費用等	162	180	18
合計	1,635	1,750	115

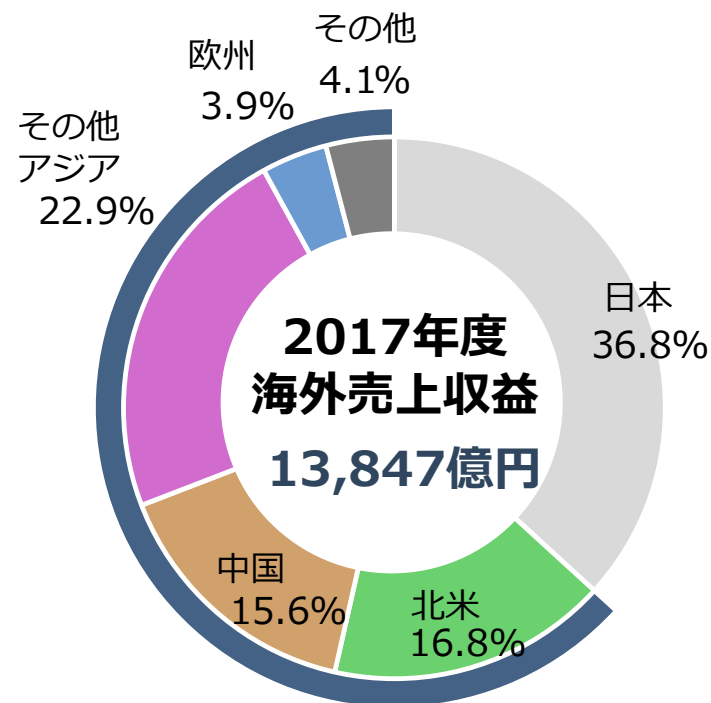
外貨ベース

会社名	売上収益		利益動向
	17年度	18年度	
ザ・ポリオレフィン・カンパニー (シンガポール) (百万USD)	1,179	1,146	↘ マージン減少及び当期定修により 販売数量減少
ペトロケミカル・コーポレーション・オブ・シンガポール (百万USD)	2,692	2,770	↘ マージン減少及び当期定修により 販売数量減少
ラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー (百万SAR)	34,211	40,998	↘ 石油精製マージンの低下
東友ファインケム (億KRW)	21,608	23,832	↗ 売価下落の一方、 販売数量増加等により増益
ベーラント U.S.A. (連結ベース) (百万USD)	915	848	↘ 天候の影響で、 顧客からの引取が減少したため



海外売上比率

64.9%

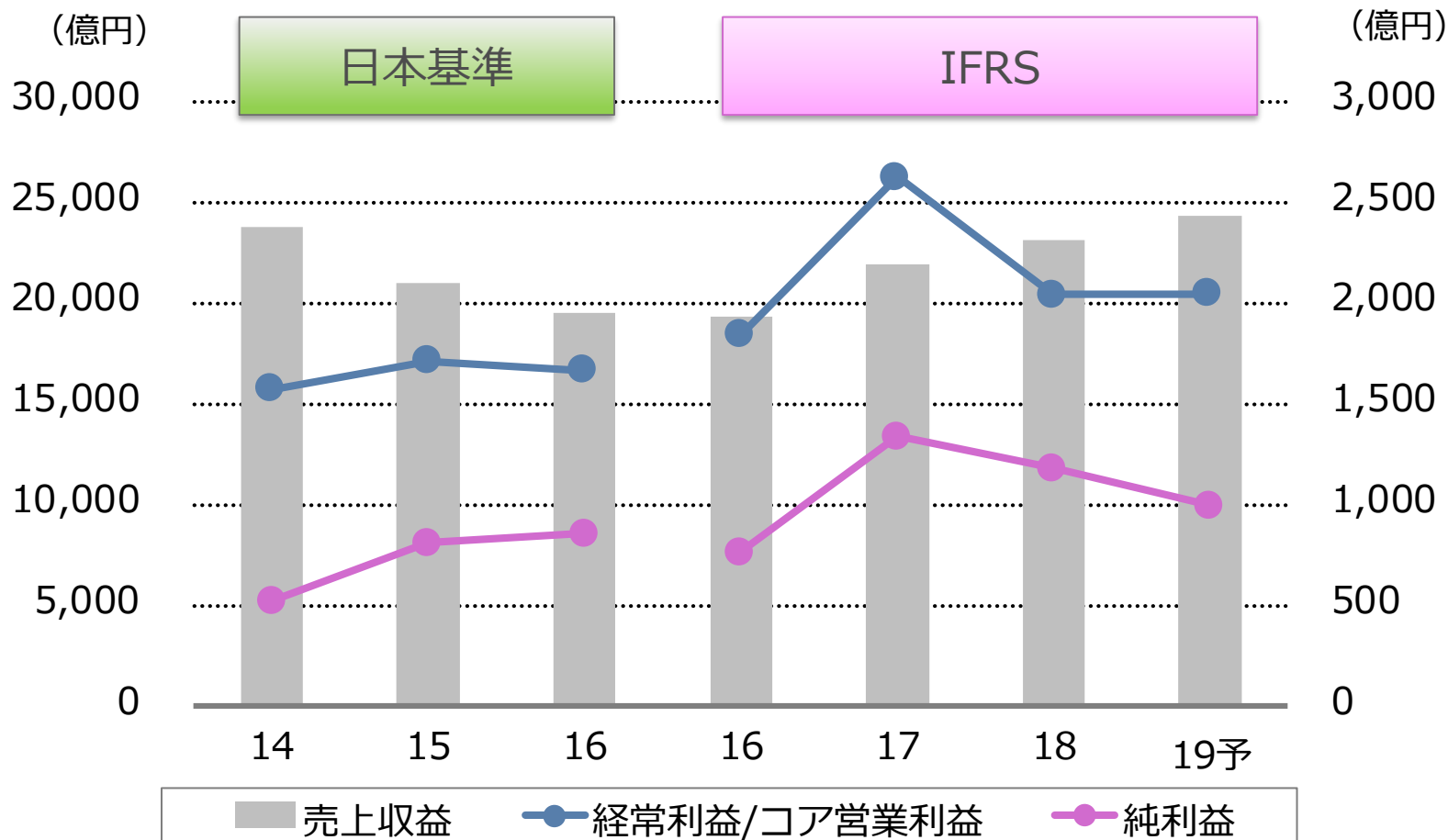


海外売上比率

63.2%

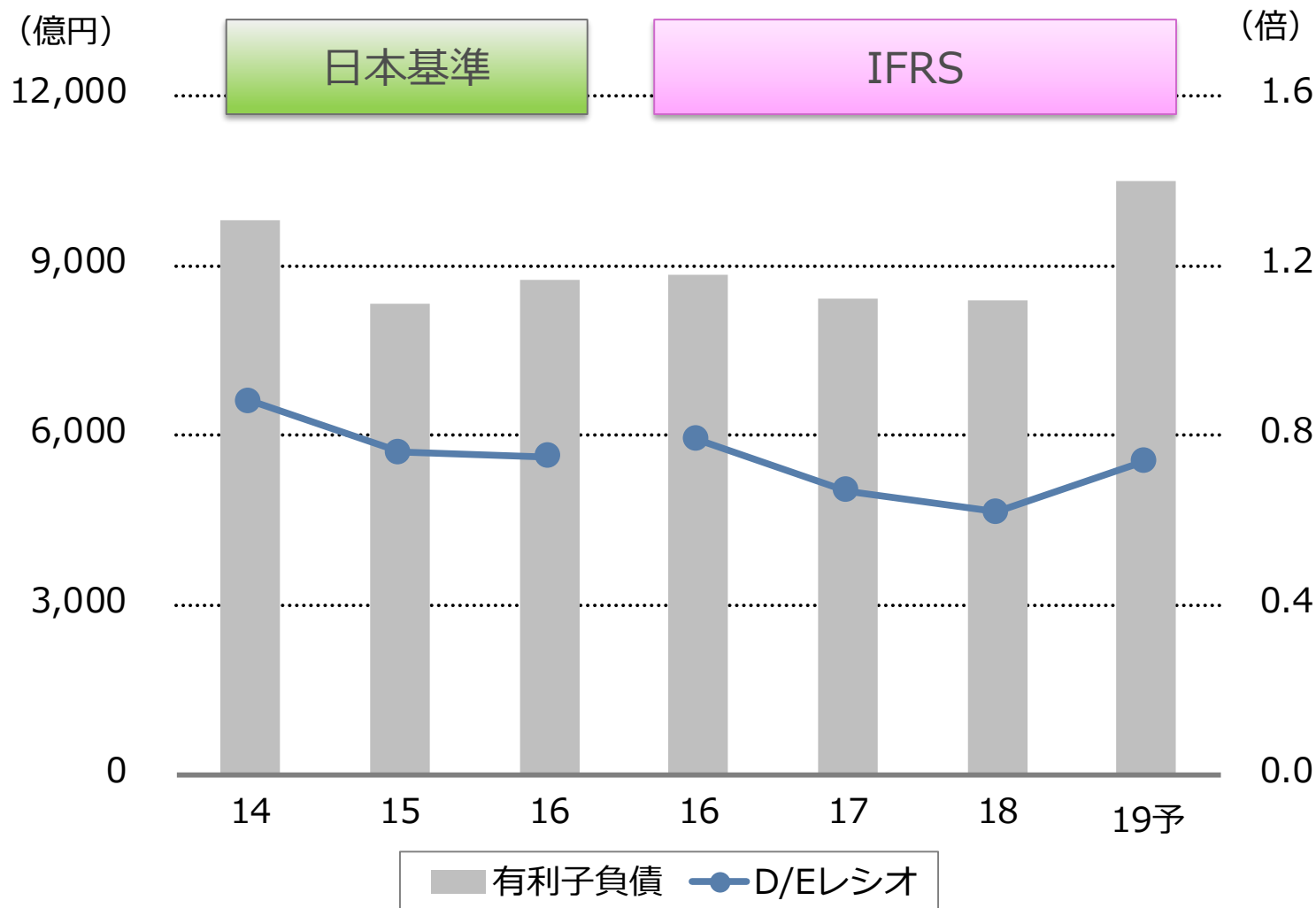
売上収益

損益



有利子負債残高

D/Eレシオ



一株当たり配当金

配当性向

